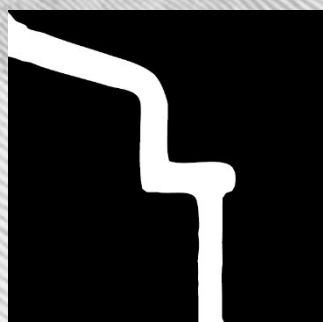


PRESS RELEASE

版画の見かた

—技法・表現・歴史—

Looking at Prints: Techniques, Expressions, and Histories



2021年
9月25日(土)~12月5日(日)
町田市立国際版画美術館

【概要】

木版、銅版、石版、孔版——版画には実にさまざまな技法があります。各技法の表現を活かして、版画家たちは魅力ある作品を生みだしてきました。それゆえ使われる版や道具、そして完成までのプロセスを知ると、版画の面白さが浮かび上がってきます。本展では町田市立国際版画美術館のコレクション約 32,000 点の中から、アルブレヒト・デューラーやパブロ・ピカソ、棟方志功といった著名な版画家だけでなく、版画ならではの鑑賞のポイントを持つ作品も紹介。古今東西の版画約 130 点の「ツボ」をお楽しみください。

【基本情報】

展覧会名：版画の見かた—技法・表現・歴史—

英 名：Looking at Prints: Techniques, Expressions, and Histories

会 期：2021 年 9 月 25 日(土)～12 月 5 日(日)

※会期中、一部展示替えを行います。

月曜休館／平日 10 時～17 時／土・日・祝日 10 時～17 時 30 分

※入場は閉館 30 分前まで

会場：町田市立国際版画美術館 企画展示室 1、2

主催：町田市立国際版画美術館 ※巡回館なし

観覧料：一般：800(600)円／大学・高校生：400(300)円

※中学生以下は無料 ※()内は 20 名以上の団体料金

※初日 9 月 25 日(土)と文化の日 11 月 3 日(水)は入場無料

※シルバーデー(毎月第四水曜日)10 月 27 日と 11 月 24 日は 65 歳以上の方は入場無料

※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

状況によって会期等を変更する場合があります。

ご来館前に当館ホームページと SNS で最新情報をご確認ください。

【紹介文テンプレ集】

※ご自由にご転載ください。

※文章の意味内容に変わりがなければ、変更・追記等も問題ありません。

- 版画の鑑賞の「ツボ」を約 130 点から紹介。(22 文字)
- 様々な技法によって作られた版画 130 点を、道具や制作の説明とともに展示。版画鑑賞の「ツボ」を紹介します。(53 文字)
- 木版、銅版、石版、孔版・・・実にさまざまな技法をもつ版画。パブロ・ピカソ、棟方志功といった著名な版画家だけでなく、版画ならではの鑑賞のポイントを持つ作品も展示。版画を楽しむ鑑賞の「ツボ」を紹介します。(101 文字)

【展覧会の構成】 ※掲載作品はいずれも町田市立国際版画美術館の所蔵 ※いずれも広報画像として利用可能

第1章 版画の技法

版形式と版種ごとに、版画の技法を紹介します。印刷の仕組みの違いによって、版画は凸版・凹版・平版・孔版の四つの形に分けることができます(版形式)。さらに版の素材や道具の違いから、木版・銅版・石版(リトグラフ)・スクリーンプリント等の種類に分けることができます(版種)。そして各版種はさまざまな表現を作り出す多種多様な技法を持っています。作品だけでなく版そのものや使われる道具、制作の過程にも注目します。



①レンブラント・ファン・レイン 《聖母の死》1639 年 凹版・銅版(エッチング、ドライポイント) ②三代歌川豊国 《今様見立士農工商 職人》安政4(1857)年 凸版・木版(多色摺)(大判錦絵三枚続) ③森義利 《隈取り(A)》1976 年 孔版・合羽版

第2章 版画の表現

版画の技法から生まれる多種多様な表現を、いくつかの視点から紹介します。まず最もシンプルな絵の構成要素である点と線、これらの組み合わせによって生まれる階調です。さらには手彩や複数の版による鮮やかな色彩などを、版画はどのように表してきたかを、その魅力とともに解説。続いて肖像や風景などの主題ごとに各版種の作品を見比べたり、作家独自の発想や観点から生まれた作品にスポットを当てたりすることで、版画の多様な表現の世界を探訪します。



④クロード・メラン 《聖顔》1649 年 凹版・銅版(エングレーヴィング) ⑤フランシスコ・デ・ゴヤ 『ロス・カプリチョス』より《感じ易かったために》1799 年刊 凹版・銅版(アクアチント) ⑥大蔵省印刷局 《[卓上静物]》1833 年 平版・石版(多色刷)

第3章 版画の歴史

古今の版画のつながりを、版画の本性に着目することで浮かび上がらせます。ひとつは古くから人々の信仰心と結びついてきた版画の宗教性。仏教・キリスト教の初期の作例と現代作家の作品の対照によって、版画の見かたの可能性を探ります。最後にさまざまな情報を絵にして広めることのできる版画の記録性に触れつつ、古今の版画を有する町田市立国際版画美術館の「蔵」としての役割も紹介します。



⑦浄瑠璃寺伝来 《阿弥陀如来坐像摺仏(百体一版)》平安時代 凸版・木版 ⑧推定制作地ネーデルラント 《キリストの昇天》16 世紀初頭 凸版・木版(手彩色) ⑨『エジプト誌』博物篇より 1809-1828 年刊 凹版・銅版(多色刷・手彩色)

【イベント情報】

※IとIIの体験制作は有料観覧券・招待券(半券可)と当日12時30分から一階受付で配布する整理券をご用意のうえ、各会場の入口にお集まりください。

I. 版画の考えかた—記念講演会—

11月28日(日) 14時～15時30分

講師:gnck^{ジョーエヌシーケー}(評論家)／会場:講堂／定員60名(先着順)

II. 版画の作りかた—公開制作・体験制作—

10月9日(土) 謄写版 講師:神崎智子(版画家)

10月23日(土) 木版画 講師:石橋佑一郎(版画家)

11月13日(土) 銅版画 講師:田沼利規(版画家)

各日14時から1時間30分程度

会場:講堂／体験制作の定員:各回10名(先着順) ※見学自由

III. 版画の楽しみかた—ギャラリートーク—

①10月17日(日)②11月21日(日) ※各日14時から30分程度

講師:藤村拓也(担当学芸員)／会場:企画展示室

※当日有効の観覧券をご用意のうえ、会場入口にお集まりください。

IV. 音の楽しみかた—プロムナードコンサート—

11月20日(土)①13時～ ②15時～ ※各回30分程度

演奏:江澤隆行(ピアノ)／会場:エントランスホール 申込不要・参加無料

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場を制限する場合があります。

【同時開催】

描かれた文学 ドラクロワとシャセリオー

9月15日(水)～12月5日(日) 常設展示室 ※入場無料

新型コロナウイルス感染症対策のため、入場を行う場合があります。
お客様の安全と安心のため、マスクの着用にご協力ください。

【問い合わせ】

町田市立国際版画美術館 〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1

展覧会担当:学芸係 藤村拓也(ふじむら たくや)

電話 042-726-2771/0860 ファックス 042-726-2840

広報用画像、プレゼント用招待券の問い合わせは「bunspo040@city.machida.tokyo.jp」まで

※メール件名に「【版画の見かた広報】」をご明記ください。

※本プレスリリースに掲載した作品は、広報用画像としてご利用いただけます。

ご希望の作品の番号(①～⑨)をお伝えください。